

Let's Try!

初心者向け

for **Beginners**



# はじめに

いま本書を手に入れている皆さんはきっと、  
普段からWindowsパソコンライフを楽しんでいることでしょう。時間を忘れてゲーム  
に夢中になったり、CGイラストを描いてみたり、作曲に挑戦したり・・・。  
そうしてパソコンを使えば使うほど、失いたくないデータが増えていくものです。  
中にはパソコンを持っていない人達にも聴かせてあげたくなるような名曲を作ってし  
まうかもしれません。

『大切なデータを安全に保管しておきたい』

『好きな曲だけの音楽CDがほしいな』

『遠方の友達にデータを送りたいけれど、Eメールには大きすぎる～』

そんなときこそCD-R！

それはまるで某猫型ロボットのポケットのような「魔法の円盤」なのです。

本書ではこのCD-R全般に関して初心者の方を対象に、

実際にneroの使い方を通して解説していきます。

「コースター」や「フリスビー」（書き込みに失敗したCD-Rをこう呼びます）  
といった言葉に敏感なCD-R上級者には物足りない内容かも知れませんが、初心者が特  
に間違いやすいポイントを押さえたガイドブックとして、  
広く活用していただけることを願ってやみません。

序章

さあ、neroをインストールしてみよう！

neroのインストール

早速neroをインストールしてみましょう。

1

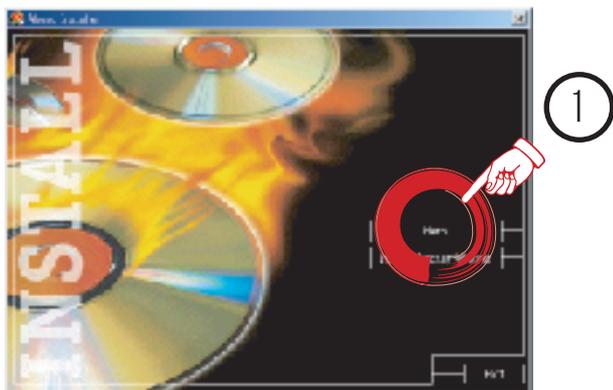
インストールの準備

- 1 CD-R/RWドライブが正しく接続された状態でパソコンを起動してください。CD-R/RWドライブは正しく認識されていますか？（CD-R/RWドライブが認識されてい 않으면neroをインストールすることができません）
- 2 neroのCDをドライブに挿入します。
- 3 neroのインストーラーが自動的に起動します。自動的に起動しない方は「マイコンピュータ」をダブルクリックするか、「エクスプローラー」を実行してCDの内にある「setup.exe」をダブルクリックして下さい。

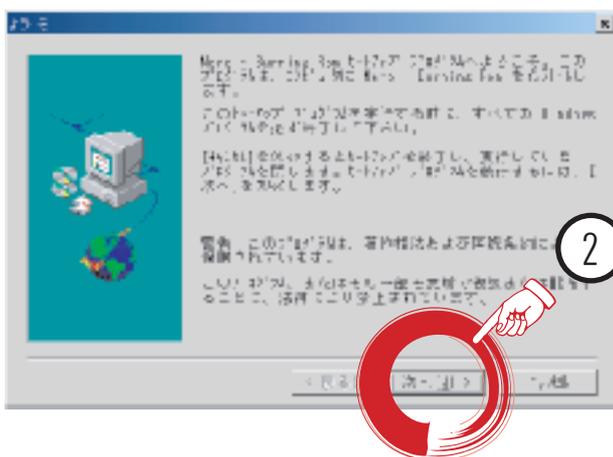
2

インストールしてみよう！

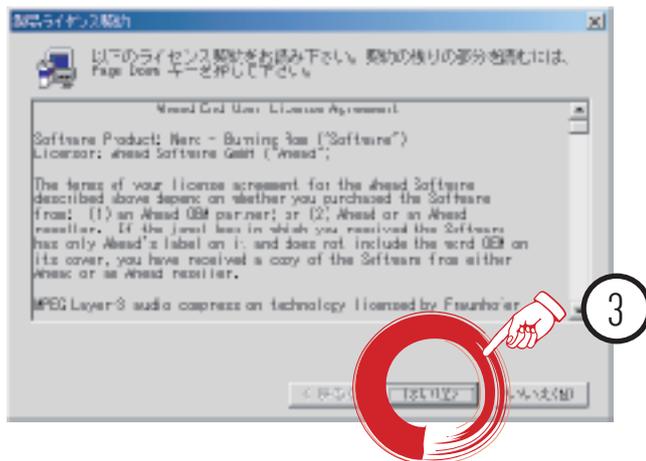
- 1 ①「nero」ボタンをクリックします。



- 2 neroのインストールが開始されます。説明を良く読んで②「次へ」をクリックしてください。



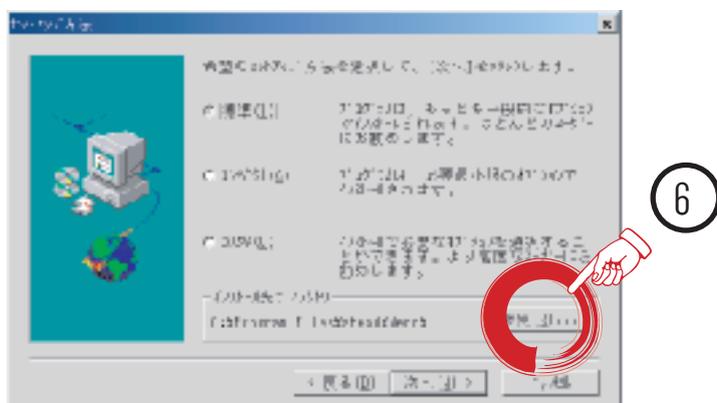
- 3** ライセンス規約が表示されます。確認の上③「はい」をクリックしてください。  
(CD内に日本語訳の[licence.txt]が入っています)



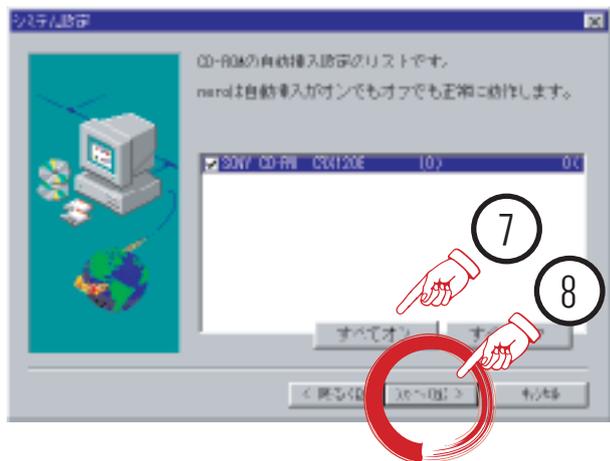
- 4** ④ユーザー名と会社名、シリアル番号 (CDのケースに添付) を入力します。  
個人のお客様は会社名のところに適当な文字列を入力してください。(空欄ですと  
インストールできません) 入力したら⑤「次へ」をクリックして下さい。



- 5** セットアップ方法は標準で問題ありません。インストール先を変更したい方は⑥「参照」をクリックしてください。



- 6** CD-ROMドライブの自動挿入設定は ⑦「すべてON」にしておいてください。  
⑧「次へ」をクリックして下さい。



- 7** インストール作業が始まります。インストール中は作業を行わないでください。



- 8** インストールが完了し、最初の画面に戻りますので ⑨「InCD」をクリックします。



- 9** 自動的にインストールされます。また最初の画面に戻りますので ⑩「Exit」をクリックしてください。Windowsを再起動するよう促されますので、再起動の後、neroを使用してください。これでneroのインストールは完了です。

# 第一章 neroウィザード編

## Chapter1 neroの起動

### 始めの一步はneroのインストールから

neroのインストールは済んでいますか？

本書はneroを実際に実行しながら、実践的な解説を行うことに主眼を置いていますので、パソコン本体やCD-R/RWドライブに関する詳しい説明は省略します。neroのパソコン環境の整備に関する説明は、ユーザーズマニュアルを参照して必要な作業を済ませておいてください。

### さあ、neroを実行しよう！

neroのインストールが済んでいれば、スタートメニューにアイコンが登録されているはずです。さっそく選択してみましょう。

個々の設定の意味などはユーザーズマニュアルを傍らに、その都度確認しておくとう理解も深まるでしょう。



スタートメニューの例

標準的なインストールでは、[スタートメニュー] ⇒ [プログラム] の中に [Nero - Burning Rom] のアイコンが登録されています。

なお、[Ahead Nero] の中にも [Nero - Burning Rom] アイコンがありますが、両方とも同じ物ですので、どちらを選んでも構いません。

# 第一章 neroウィザード編

## Chapter2

### 何は無くとも、まずはコピーだネ (CDのコピー)

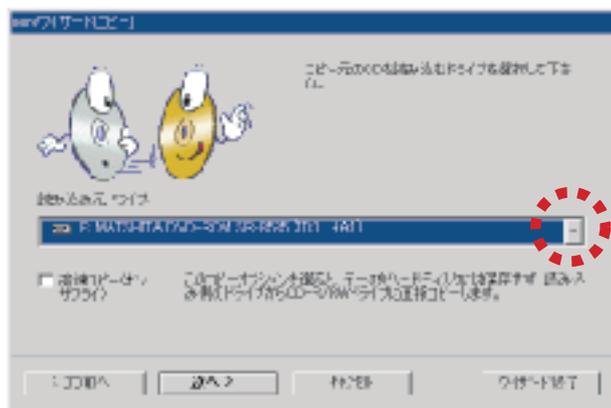
まずは最初に何かCDをコピーしてみましょ。気に入りのCDを汚したくない、ましてやキズを付けるなんて言語道断！なんてCDをお持ちの方には、まさに打って付けの機能です。

後述する「新規CDの作成」よりもこちらを先に説明する理由は、目的のCDが採用しているフォーマットうんぬんといった細かいことを余りにしないで済むからです。コピー機能は基本的に音楽CDであろうとデータCD-ROMであろうと、ほとんど関係無く利用できます。こういった細かな違いなどはneroが一通り面倒を見てくれるからです。

**1** [CDのコピー] を選んで、[次へ] ボタンを押しましょう！



**2** 次の画面では、コピーしたいCDを挿入する読み込み元のドライブを指定します。右端にある▼印を押すと、neroが認識できているドライブの一覧が表示されるので、その中から一台を選んでください。



CD-R/RWドライブ一台しか搭載していないパソコンや、二台以上のドライブを搭載していてもneroから検出できていない場合では【高速コピー】の選択ができなくなります。この場合は【高速コピー】にチェックをしなかった場合と同じ動作になります。

【高速コピー】にチェックを入れた場合、書き込みを行うCD-R/RWドライブとは別に読み込み元のドライブを指定する必要があります。オンザフライとは一定の単位でデータの読み書きを繰り返すことで、見た目にはカセットテープのダビング感覚でコピーしているように見えます。読み込みにかかる時間+αでコピーが可能なので、比較的高速にコピーできます。

しかしそれだけパソコンの環境に依存してしまいがちで、予期せぬ負荷がかかると簡単に失敗してしまい易いのが欠点です。CD-RWドライブをお使いでしたら、一度CD-RWメディアで高速コピーに挑戦して十分な試行錯誤を行ってからのほうが、貴重なメディアが無駄にならないのでいいでしょう。一度書き込みに失敗したCD-Rメディアはもう使えないからです（失敗メディアはもうコースターぐらいにしか使い道がありません）。

【高速コピー】にチェックを入れない場合、もしくはこの項目が選べない場合では、CDの内容を一気に読み込み終えてから（ハードディスク内にイメージファイルとして記録してから）、次に書き込みを始めます。読み込みと書き込みの二段階の手順を踏むので、その分だけ時間がかかります。

先に行われる読み込みの段階でもし何かの不具合が発生したとしても、そこから先の作業に影響を与えないため、CD-Rメディアを無駄にしないというメリットがあります。いかにもコピーガードが施されていそうなCDをコピーする場合にちょうどいいかもしれません。

更に、一般的にCD-ROMドライブよりもCD-R/RWドライブのほうがCDに対する読み込み特性が高いため、読み込みも書き込みにも同じCD-R/RWドライブを使用したほうが結局はコピーし易いのではないかと思います。

## そこで提案！

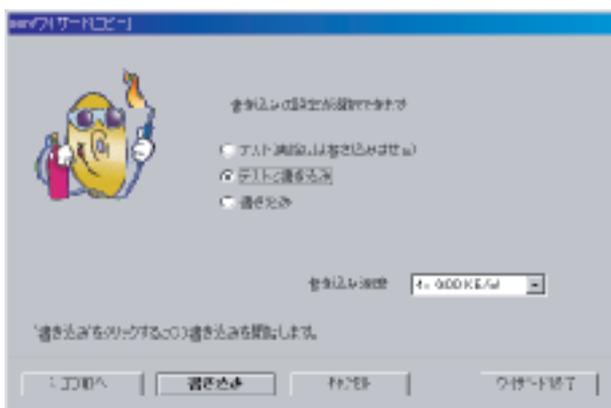
とりあえずコピー作業に慣れるまでは【高速コピー】はチェックしない状態で、読み込み元のドライブも、書き込み先と同じCD-R/RWドライブを選びましょう。これから先の項目も、そのような設定となっていることを前提として解説することにします。

### コラム

### CD-ROMドライブについて

読み込み専用機器であるCD-ROMドライブは、その信頼性は確かに高いものですが、意外にもコピー元として使用するにはふさわしくない製品が多いことに驚かされます。ごく一般的なパソコン向けデータを記録したCD-ROMであれば特に問題はありますが、音楽トラックに対して極端に厳しくなる場合があります。例えば、データトラックに対しては数十倍速読み込みを誇っているながら、音楽トラックになるとその半分の性能も発揮できないドライブなどです。中には音楽トラックはBGM演奏用と割り切って再生のみ可能で、CDに記録された情報として読み出すことが全く不可能なものもあるくらいです。neroの自動検出機能で認識できなかったCD-ROMドライブのほとんどはこれらの仕様に該当しているものと思われます。CD-R/RWドライブはCDのフォーマットを一通り把握しなければ書き込みなんてできませんから、当然それら进行操作できるだけの機能を備えているのです。

**3** コピー開始までもう少しです、最後に書き込み方法を選択しましょう。



書き込みの設定を選択しよう

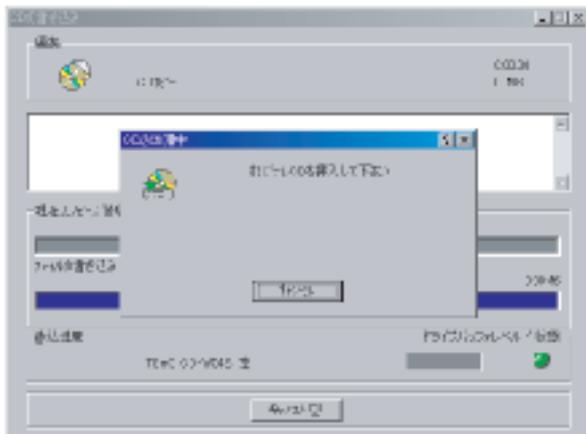
ここにある【テスト】とは、書き込みの処理を一通り最後まで実行するものの、実際にはレーザーを照射しない機能を示しています。書き込み時には確かにCD-Rメディアの挿入を要求しますが、結果的に何も書き込まれずに終了します（そのメディアは未使用なので本番の書き込みに使用できます）。この機能により、データの解析能力や転送能力が充分であるかテストできるのです。

【テストと書き込み】はテストを終えた後に続けて書き込みを行います。最後は真打の【書き込み】です。もう何度もコピーに成功していて、特に心配の無い環境なのでしたら、一気に書き込んでしましましょう。

【書き込み速度】の指定は意外と迷うものです。最近のドライブであれば、最高速で書き込んでみてもまず問題は無いでしょうが、心配でしたら、とりあえず速い順から【テスト】してみるのが確実でしょう。

さあ、コピーしたいCDをドライブに挿入して  
【書き込み】ボタンを押しましょう！  
ドキドキ！

- 4** コピーしたいCDを検出している間は次のような画面が表示されます。ここで【キャンセル】ボタンを押すとコピー作業を中断できます。CDが見つかったと自動的に次へ進みます。



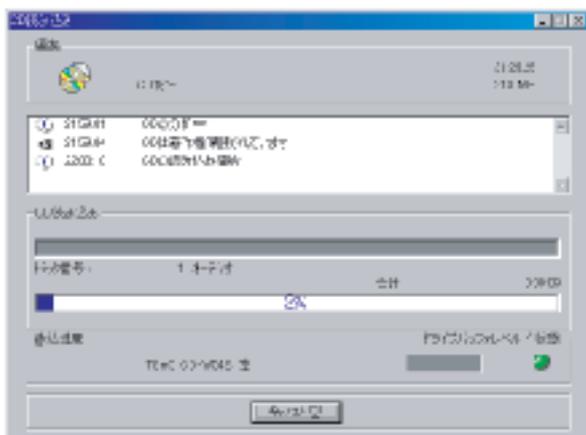
CDを検出中

- 5** 次にCDDAへ接続を促すウィンドウが表示されますが、コピーにはほとんど関係ありませんから【キャンセル】ボタンを押して続けましょう。



CDDA接続画面

- 6** ついにコピー開始の瞬間がやってまいりました。ハードディスク経由のコピー方法を選んでいきますから、まずはCDの内容を一気に読み込み始めます。進行状況が100%に達するまで無事を祈りましょう！

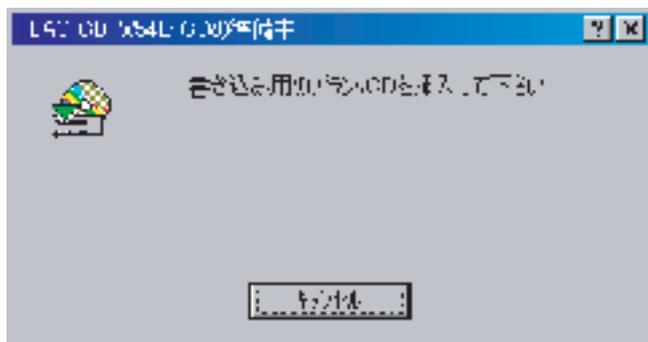


バリバリ読み込み中

**7** 無事に読み込みを完了すると、ここからがまさにクライマックス、書き込みが始まります！

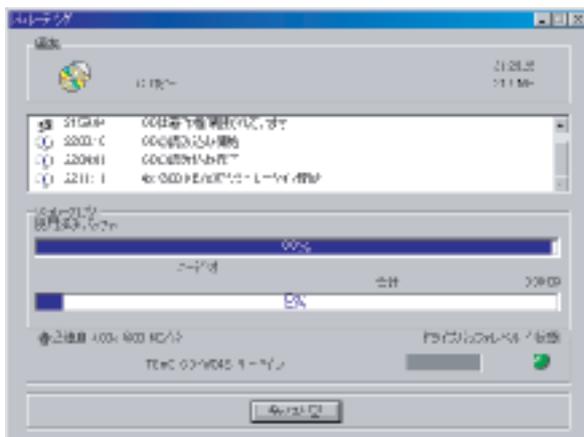
読み終えたCDを取り出して、空のCD-RまたはCD-RWメディアと入れ替えます（CD-RWの場合フォーマットは済んでいますか、もし済んでいなければコピーを中断してフォーマットしなくてはなりません）。

空のメディアを検出すると、自動的に先へ進みます。間違えて [キャンセル] ボタンを押さないように注意してください、作業を中断してしまいますよ！



CD-R/RWメディアの準備中

**8** 【テスト】を含む書き込み方法を選んでいたら、ここでシミュレーティングが始まります。ここでエラーが発生する場合はまだメディアには何も書き込まれていませんから、設定を変更してやり直すときに同じメディアを使うことができます。



ガンガンにテスト中

**9** 【書き込み】を含む書き込み方法を選んでいたら、ついにここで書き込みが始まります。もしここでエラーが発生して、しかもメディアがCD-Rであった場合、残念ながら…そのメディアはペア…です（CD-RWであれば再フォーマットでやりなおせます）。



バキバキっと書き込み中

## 第一章 neroウィザード編

## Chapter 3

## My Best 音楽CDなんて最高! (音楽CDの作成)

Windowsパソコンも使い易くなって、自分で作曲した音楽データを保存しておいたり、流行のMP3データを友達と交換したりなどを楽しんでいる人も多いことでしょう。しかしWindows標準のWAVファイルでもMP3ファイルにしても、所詮パソコンが無いことには聴くことができません（MP3プレーヤーもあるけれど、そのプレーヤーにデータを送るために結局パソコンが必要になりますし…）。

そこで颯爽とneroに登場願いまして、普通のCDプレーヤーなどのオーディオ機器で再生可能な音楽CDを作成してしましましょう!

WAVファイルはもちろん、MP3ファイルもオーディオCD用として書き込んでくれます。ただし一般的な音楽CDとして書き込むので、そのため当然ながら収録できる曲数は普通の音楽CDと同じになってしまいます。もしも百曲近い量のMP3ファイルをMP3のままCD-Rに書き込みたい場合には続く項目の「CD-ROMの作成」を参照してください（その場合は音楽CDではなくなってしまいますので、普通の音響機器で再生できません）。

もちろん、一部のゲームソフトのようにコピーガードが施されているものなどには、流石のneroでも太刀打ちできない場合があります。特にウィザードのコピー機能は標準的なCDに対して特化することで簡素に扱えるようにしたものですから、おのずと限界があります。そういった複雑なCDに対して多少なりとも立ち向かう手段は第二章で解説しますので、とりあえず最初は普通のCDコピーから始めましょう。個々の設定の意味などはユーザーズマニュアルを傍らに、その都度確認しておくとう理解も深まるでしょう。

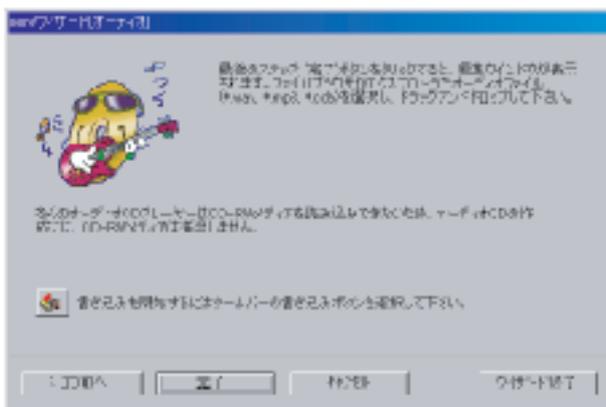
**1** 【新規CDの編集】を選んで、【次へ】ボタンを押しましょう!

- 2** 【新規CDの編集】では、いくつかの種類CDを作成できます。ここでは音楽CDの作成を行いますので、【オーディオCD】を選んで【次へ】ボタンを押してください。



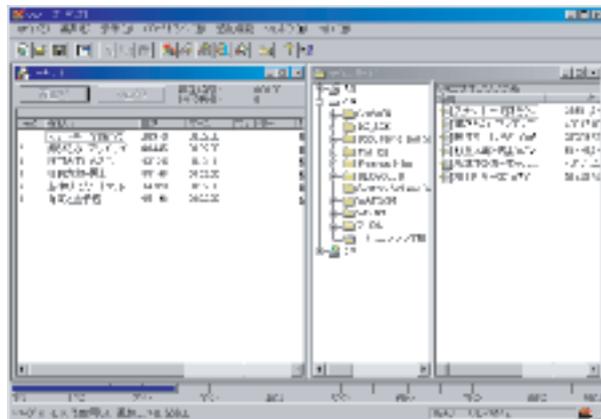
【オーディオCD】を選んで【次へ】ボタンを押しましょう

- 3** 音楽CDにしたいデータの用意は済んでいますか。いよいよ次からはトラックの割り当てを行いますから、ここはその確認画面です。データの準備が大丈夫なら【完了】ボタンを押して次に進みましょう。



さあ音楽CDを編集しよう

- 4** 【オーディオ1】と【ファイルブラウザ】に分割された画面になります。



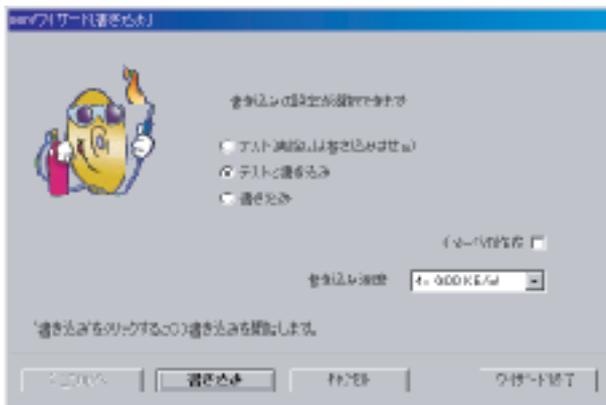
音楽データを選択しよう

【ファイルブラウザ】をエクスプローラの要領で操作して、目的の音楽データを探します。【トラックの保存】（ユーザーマニュアル参照）で保存したデータであれば、初期設定のままであれば、C:\¥Windows¥Temp（Windows 98系の場合）の中にあるはずです。

音楽データが見つかったら、そのファイルを【ファイルブラウザ】側から【オーディオ1】の中へドラッグ&ドロップします。エクスプローラの中でファイルをコピーするような要領です（シフトキーを併用した複数のファイル指定も可能です）。基本的にドロップした順番でトラックが割り振られます。必要なデータの指定が終わったら、いよいよ書き込みを始めます。画面の上端にあるボタンの並びの中、左端のボタンを押すと、書き込み開始です。もしこのボタンが押せない状態になっている場合、【オーディオ1】のウィンドウがアクティブ（ウィンドウタイトルが明るくなっている状態）になっていますか？【ファイルブラウザ】のほうがアクティブになっていると、このボタンは押せません。【オーディオ1】のタイトルをマウスでクリックすれば、ボタンが押せるようになるはずですよ。

**5**

書き込み方法の選択です。各方法の意味はCDをコピーする場合と同じですので、そちらを参考にしてください。



さあ書き込みもう！

【書き込み】ボタンを押すと、書き込みを開始します。空のCD-Rメディアを用意して画面の指示に従ってください。【テスト】や【書き込み】の実際の様子はCDコピーと同様です。

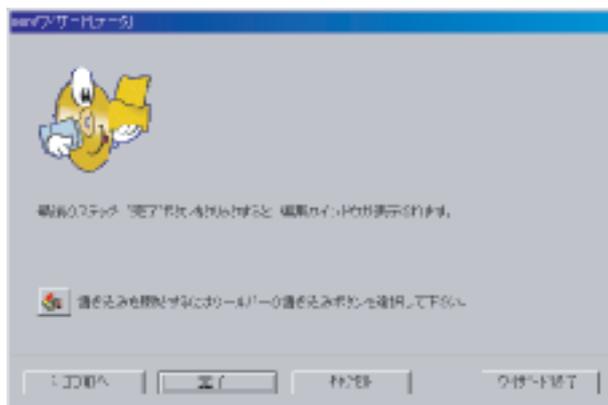
**コラム****CD-RとCD-RWとCDプレーヤーと…**

ラジカセなどの音響機器としてのCDプレーヤーは、本来CD-R/RWの再生を想定して設計されていないものです。そのため、パソコンのCD-ROMドライブでは再生できるのに、ラジカセではうまく再生できないということも有り得ます。まるで昔のアナログレコードのような音飛びがあったり、CDを入れた直後のトラック数を確認する段階で先に進まないこともあります。このような場合はそのプレーヤーにとって相性の良いCD-Rメディアを試行錯誤で探すより方法がありません。さらに困るのがCD-RWメディアです。これはレーザーの反射特性がCDやCD-Rに比べ極端に低いものなので、まず一般の音響機器では再生できないといえるでしょう。パソコンのCD-ROMドライブでさえも、CD-RW登場以前の古い製品だと読み込めないものがあるくらいですから。

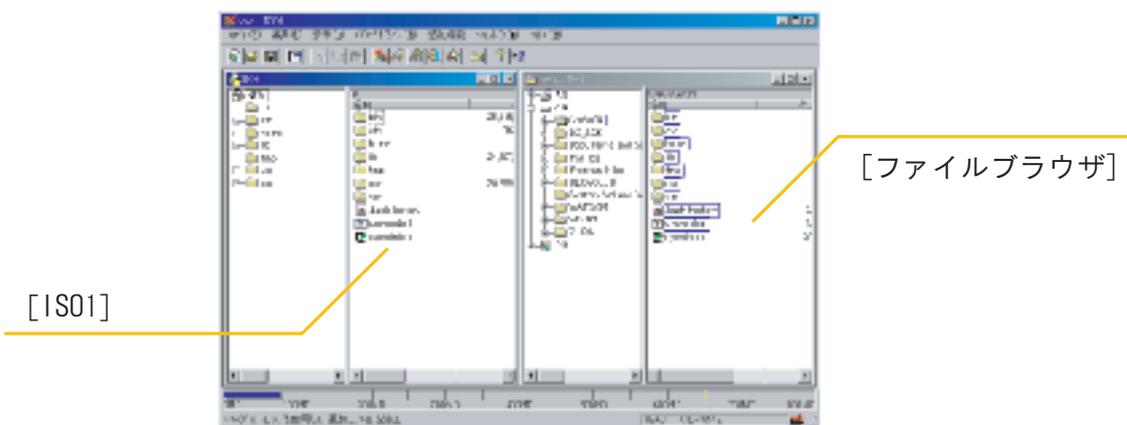
- 3** 新規にデータCDを作成するか、同じ方法で既に作成したCDにまだ空き容量が残っている場合にそこへ追記で書き込むかの選択画面です。初めての書き込みでは**【新規データCD…】**を選び、**【次へ】**ボタンを押して次へ進みます。



- 4** 書き込みたいデータの用意は済んでいますか。データの準備が大丈夫なら**【完了】**ボタンを押して次に進みましょう。

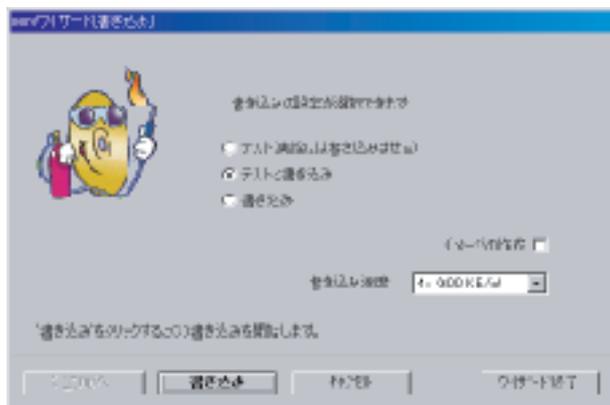


**【IS01】** と **【ファイルブラウザ】** に分割された画面になります。



音楽CDを作成する場合と同様に、**【ファイルブラウザ】**から**【IS01】**へファイルやフォルダを登録できます。しかし音楽CDとは違ってトラックという概念がここには無いので、「画像データとそれ以外に分けて保存したいな」と思ったとしたら、まえもってエクスプローラ上でフォルダに分けておくなど、事前処理が必要です。

- 5 必要なファイルの登録を終えたら、音楽CDの作成と同様に、ボタンを押して【CD書き込み】画面を呼び出します。



書き込み方法の違いはCDコピーの場合と同じです。【書き込み】ボタンを押すと、書き込みを開始します。空のCD-Rメディアかフォーマット済みのCD-RWメディアを用意して画面の指示にしたがってください。【テスト】や【書き込み】の実際の様子はCDコピーと同様です。

## コラム ファイルのバックアップとハードディスクバックアップ

このCD-ROMの作成機能を使うことで、大事なファイルのバックアップを残しておくことは解ると思います。そしてneroには更に強力なバックアップ機能としてハードディスクバックアップがあるのですが、それとこのCD-ROMの作成とを混同してしまい易いようです。ハードディスクバックアップ機能は、ハードディスクの中身を直接読み出して記録するので、その中に存在している個々のファイルを、ファイルとして意識していません。ですから、この機能でバックアップしたCD-Rからはファイル単位で復元することはできません。そもそもファイルというのはWindowsがファイルとして認識できる形式で管理しているからこそファイルであるだけなので、そのWindowsごとバックアップするこの機能は別次元のものなのです。

## 第二章 新規編集ダイアログ編

### Chapter1

## ウィザードからダイアログへ

neroウィザードによる操作には慣れましたか？

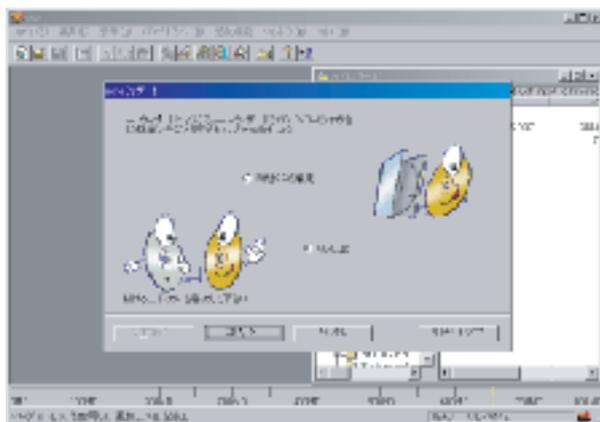
ごく普通にCD-ROMや音楽CDを作成するだけならば、それでも充分だと思いますが、慣れてくると色々といじってみたくなくなってきませんか？

ここからの作業は少々敷居が高くなりますよ…。

でも「MS-DOSって何？」「ISO（ISO）とは何じゃ？」といった方でも安心してください。個々の項目の意味を理解していなくても、とりあえず画面の設定をマネして設定するだけで充分使えますから。より詳しい内容を理解して複雑なCDを作成したくなったら、ぜひユーザーズマニュアルへお進みください。未知の世界が待っているかもしれない…。

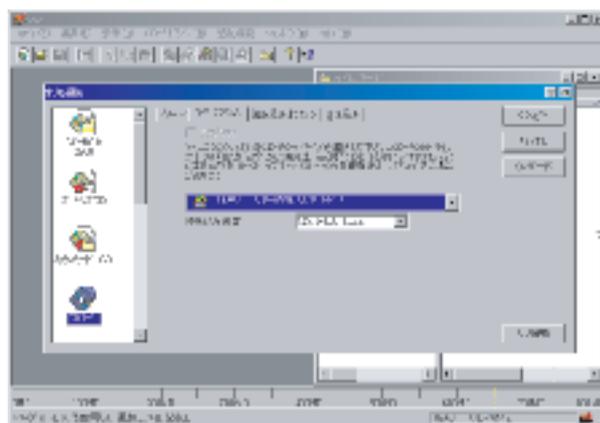
個々の設定の意味などはユーザーズマニュアルを傍らに、その都度確認しておくとう理解も深まるでしょう。

- 1 さて、まずは今迄通りneroを起動しましょう。neroウィザードが現れると思います。ここで**【ウィザード終了】** ボタンを押すことが、ウィザードに別れを告げる瞬間になります。次回からの起動にはneroウィザードが現れなくなりますよ（もちろん、すぐに元に戻せますけど）。



これがneroウィザードを見る最後の瞬間かも…

neroウィザードの画面が消えて、新規編集ダイアログが表示されたでしょうか。

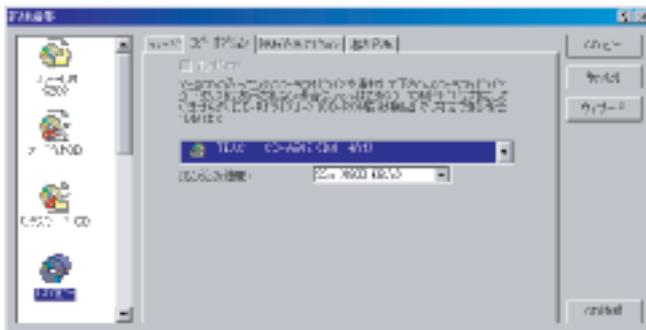


新しい世界に足を踏み入れた瞬間

この新規編集ダイアログ編では、【CDコピー】の設定方法のみに限定して解説します。データCD-ROMや音楽CDを作成するにはむしろ、ウィザードによって内部で設定される内容のほうが標準的で望ましく、そういった標準的ではないCDを作成したい場合には、当然CDのフォーマットを熟知していて、なおかつneroの各項目の意味も把握している必要があるからです。それにはまずユーザーズマニュアルを読みこなし、十分な試行錯誤によって経験的に学んでいくしか無いでしょう。

## CDコピーダイアログを設定してコピーしてみよう！

新規編集ダイアログの左端には目的の機能を示すアイコンが縦に並んでいます。ここでは [CDコピー] のアイコンを選んでください（ダブルクリックする必要はありません、一度クリックして反転されればOKです）。



【イメージ】【コピーオプション】【読み込みオプション】【書き込み】と、四つのタブシートがあるのが解ると思います。

これらのタブシート内の各項目は連携しているので、ある項目の値を変更すると、他の項目が変更できなくなる（灰色で変化しない）、一定の値が設定されてしまうなどの変化があります。

全ての項目の設定を終えた後、【CDコピー】ボタンを押すことで、コピーが始まります。

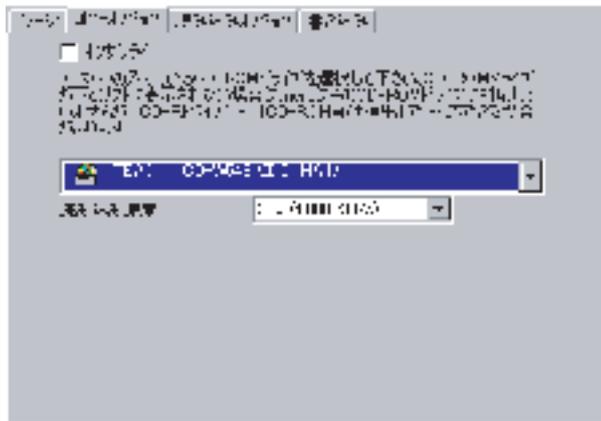
【キャンセル】ボタンは新規編集ダイアログの操作を終了したいときに押します。ダイアログウィンドウは閉じられ、neroのメインウィンドウが操作できるようになります。

【ウィザード】ボタンは懐かしい旧友（neroウィザード）と再び行動を共にするためのボタンです。

先に既にCDが挿入されている状態で【CD情報】ボタンを押せば、そのCDの構成（フォーマットなど）が確認できます。

## 1

いよいよ項目の設定を解説です。  
まずは【コピーオプション】タグシートの内容から説明します。



【オンザフライ】は、書き込みを行うドライブ以外に、読み込み用の別ドライブを用意して、読み書きを同時に行うコピー方式を選択します。neroウィザードで【高速コピー】を選んだ場合に内部で設定されている項目です。

ドライブ名が表示されている項目は、▼印を押すと一覧が表示され、読み込みに使いたいドライブを選択することができます。【オンザフライ】をチェックしている場合、必ず書き込み用ドライブ以外のものを選択する必要があります。

【読み込み速度】はその名の通り、何倍速で読み込むのかを指定します。書き込み速度に比べれば、読み込み速度は余り制約はありません。【オンザフライ】でコピーする場合には転送の負荷を減らすために、むしろ速すぎる設定のほうが好ましいくらいです。なお、この何倍速というのは平均的な目安に過ぎず、音楽トラックが含まれる場合など大きく変動する場合があります。

CD-R/RWドライブ一台しか搭載していないパソコン構成の場合ですと、【オンザフライ】は変更できない状態になっているはずですが、本章ではウィザード編と合わせて【オンザフライ】ではない方式、ハードディスク経由方式を前提に解説していきます。

- 2** お次は【イメージ】 タグシートの内容です。もし【コピーオプション】の中  
で【オンザフライ】をチェックしていたら、このシートは意味を持ちません。



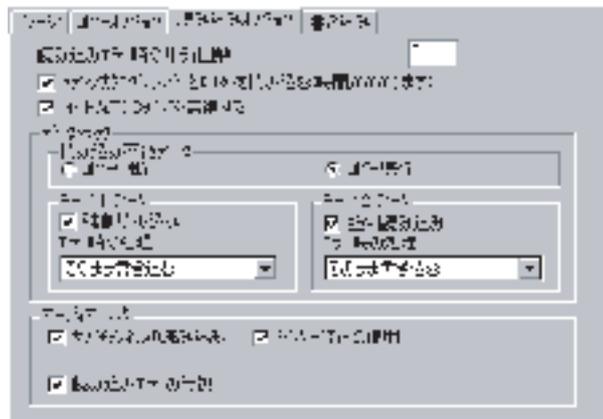
ハードディスクを経由してコピーを行う上で、CDの内容をまるごと一個のファイル（これをイメージファイルと呼びます）を作成します。そのファイルをどのハードディスクドライブの、どのフォルダに、どんなファイル名で作成するのかを指定する項目群です。

一般的なパソコンの構成では、初期設定値である、C:ドライブのルート（一番上のフォルダ）のままが、アクセス速度の都合から判断して望ましいでしょう。しかし、十分な空き容量（800MB以上）が確保できない場合などは、適当なドライブとフォルダを指定する必要があります。ファイル名は”image.nrg”が初期設定値になりますが、これはお好みで変更してください。

**【すべてのドライブの速度をテストする】** ボタンはハードディスクドライブの転送速度を計測します。一般に4000KB/S以上の値があれば、通常特に問題は無いでしょう。

**【CDコピーの後にイメージファイルを削除する】** は、コピー終了後もイメージファイルをハードディスクに残しておくか否かの指定です。時を空けて同じCDを何度かコピーしたい場合、イメージファイルを残しておけば、エクスプローラからそのファイルをダブルクリックするだけで、イメージをCDに書き込むための設定でneroが起動しますから、読み込み過程を飛ばして書き込みだけを行うことが可能になります。

- 3** 三番手にひかえしは、コピー作業の要となる**「読み込みオプション」** タグシートです。コピー元のCDを解析する上で、非常に重要な内容を含んでいます。



読み込みエラー時のリトライ回数は、一回では心配ですが、何回読んでもダメな時はサッサあきらめて先に進まないとその負担はそれでデータ転送の負荷になってしまうので、やはり二回程度が適当でしょう。

**「メディアカタログ…」** は、CDに記録されている著作権情報などを読み込むかどうかの指定です。CDプレーヤーでは特に参照される情報ではないので、チェックはしなくても問題はありません。（より厳密にコピーしたい場合にのみ必要）なお、今時のドライブではまず問題にならないですが、ドライブによってはこのISRC情報の読み出しに異常に時間がかかる場合があります。

CDには先頭情報として、そのCDの内容構成をまとめたTOCという領域があります。しかし、実際にトラックとして記録されている長さなどはTOCと一致していても中身のデータは読み込めるので、意図的にTOCを不整合な値にしておいて、TOCを頼りにコピーを行うツールでエラーにさせるというコピーガードが存在しました。**「不正なTOC…」** は、そんな初歩的なガードに対抗する手段です。

データトラックとオーディオトラックでは、その読み込み特性において大きな違いがあり、それに合わせて設定項目もまた異なったものになります。

データトラックを読み込んでいる途中で、何らかの読み込みエラーが発生した場合に、その場で**「コピー中断」** してしまうか、それともとりあえずそこはそのまま置いていて**「コピー続行」** するかを決定する必要があります。

わざと途中でエラーとなるような個所をCD上に設け、コピーを失敗させるというコピーガードも存在しており、**「コピー続行」** はそのようなガードに対抗する手段です。

そして、データトラックにはモード1と2の二種類のフォーマット形式があり、それぞれに**「強制読み込み」** を指定し、なおかつエラー時の処理を**「そのまま書き込む」** にしています。ここは**「データ修正を行う」** のほうが良いような気がしますが、前述の”意図的なエラー”タイプのコピーガードの場合、ツールがコピーに失敗しなかった場合を考慮して、そのCD中のプログラムから問題の個所をチェックして本当にエラーになるかどうかで二重に確認するといった手強いものも存在するため、あえて**「そのまま書き込む」** ことにしています。



## さいごに

第二章で解説したダイアログの設定は、コピー機能を特に強化したもので、その分コピー全体にかかる時間は増えます。普段はここまで指定する必要は無いかもしれませんが。しかし、いくら強力だとしても、やはり限界はあります。特に最近のゲームソフトなどは、かなりキツイコピーガードを採用しているものも少なくありません。

本来、個人の範囲を越える使用目的で、一般に市販されているアプリケーションソフトCD-ROM、音楽CD、ゲームソフトなどをコピーすることは違法行為に該当します。市販CDの購入者はその著作権者の権利を尊重し、純粋なバックアップ目的でのみコピーを行うのであれば、このようなコピーガードなどは必要が無くなるはずで

す。この問題は個人のモラルに頼るところが多く、現実にはライティングソフトを提供している私達がとやかく言える立場ではないのかもしれませんが。しかし、未来のクリエイターを目指して純粋にCD-ROMを制作しているような人々までも、冷ややかな目で見られる時代にはなってほしくないと、切に願ってやみません。

この部分ではCD-Rの作成の仕方をごく簡単に説明しましたがneroにはもっともっとたくさんの機能があります。確かにCD-Rには規格に沿ってなどいろいろと難しい部分があるのも事実です。しかし、このあとのユーザーズマニュアルを参考に、いろいろなCDを作れるようになってくれたら幸いです。微力ながら私どもPRO-G CS部もお手伝いさせていただけたら、と思います。

なおサポートセンターのお問い合わせ先は・・・  
03-5924-3152 (10:00~18:00)  
nero@pro-g.com

※土日休日弊社指定休日を除く

また弊社ホームページにはneroの最新情報、Q&A、アップデートなどが随時更新されています。ぜひご覧下さい。neroのホームページは・・・  
<http://www.nero2000.com/>  
です。